

## 議事録

名目 平成17年度徳島大学歯学部支部長会  
開催日 平成17年4月24日(日) PM13:00～15:00  
場所 歯学部4階セミナー室  
出席者 関東支部 小寺(代出)  
大阪支部 金子  
岡山支部 華房  
香川支部 高尾(代出)  
徳島支部 高田  
愛媛支部 近藤  
高知支部 池田  
薦田、竹内、柴田、重本、廣瀬、石橋、河野(計14人)

### 議事内容

- 1, 開会
- 2, 会長挨拶
- 3, 支部設立にあたっての苦勞と、現状についての報告

〈関東支部〉「毎年支部の会報を出している。支部の年会費は5千円だが、開業医のみ払うような形です。集まりに若い世代が来ないので苦勞している。若い会員が来てくれるような秘訣をご教授頂きたい。」

〈大阪支部〉「うちの年会費は新卒無料、さかのぼって卒業5期目までは1万、それ以上は1.5万の設定です。が、17～22期は全員年会費を払っていない。」

「会報は1回出すのに12万かかっているが、広告費で半分まかなっている。講演会を春秋の年2回行っています。」

「研修医の研修後の進路を把握したいので、河野先生→同窓会→大阪支部という流れで伝えるようなシステムを作ってほしい。」

「同窓会名簿の代引き法だがあれは経理で落とせないで落とせるような形にしてほしい。」

「支部の同窓会員への連絡事項を支部長あてに送ってることがあるが、支部長から会員へ送らなくてはいけないのか？同じ事なら本部から送って頂きたい。うちの連絡はほとんどがFAXなので通信費がばかにならない。メールを読む先生は10%以下なので。」

薦田「年一回の会報と一緒にならいいが、頻度が多くなるとそういうわけにもいかない。」

高知支部「うちはメーリングリストにしている。」

徳島支部「うちも。会合の度に毎回口をすっぱくして言い続けてきてやっと普及してきた。すごく楽です。メールしない先生方は2割ぐらいです。」

〈香川支部〉「年会費は開業医1.7万、勤務医1万だが、今年から開業医が1.2万になった。」

「要望だが、勤務医に募集要項を閲覧できるようなシステムを作ってほしい。学務にあるのを見れるのは学内にいる者だけ。」

薦田「来年度からは6年生でなく、研修医を対象にしたガイダンスをメインにしていきたい。」

香川支部「6年生に対する就職ガイダンス+研修医に対する就職ガイダンスの二つが必要ではないでしょうか。」

〈高知支部〉「年会費は引き落としなので払い漏れはない。でも入ってから一回も見ただけの会員が多い。」

「3期の山本先生が去年11月に高知大の口外の教授に就任された。6/11に新阪急ホテルで祝賀会を開催する予定です。」

〈愛媛支部〉「年会費は全員1.2万で、天引きです。会合の出席率も8〜9割と良い状況です。毎年6月に学部の6年生を松山に呼んで懇親会を開いているので、それが出席率につながっているのでは。」

「要望ですが、学術で販売しているビデオをDVDにしてほしい。」

「求職、求人の両方を載せるところをHP上につくってほしい。」

「災害見舞金についてですが、修理費が100万以上かかった場合、というように記載されているが、これは自己申告で良いのか？」

薦田「補償金ではなく、あくまで見舞金。自己申告です。」

「学外講師を講演で支部に呼ぶときは交通費は出るのか？」

薦田「グレーゾーンだが、出すようにしたい。」

〈岡山支部〉「年会費は開業医のみ1万。年一回学術講演会、親睦会は年2回。学生は無料です。」

「以前、求人を岡大のメーリングリストに載せてもらったことがある。岡大はHPもよく活用されているので、徳大も参考にしてほしい。」

〈徳島支部〉「年会費は開業医3万、勤務医1万です。総会、新年会、保険点数セミナー、学術講演会等で年に6〜7回イベントがありますが、全て無料です。これでトントンぐらいです。」

「新入会員には保険点数セミナーが目新しいのか、よく来てくれる。もっとよく勉強させろ、と歯科医師会からよく指導が来る。」

〈総括（薦田）〉「若い会員をはじめからつかまえておくようにしてほしい。」

「支部支援金は、同窓会報への投稿に対する謝金という形で、これからも2万円出していくことにします。また、支部で講演会を開いたときには講師の交通費の支援をします。」

「同窓会本部で行っている講演会のビデオの貸し出しは行わず、支部で買い上げて頂いて、会員にまわすようにしてほしい。また、ビデオライブラリーをDVDにしてほしいというご意見については、今後、学術で検討します。できればこれからの講演だけではなく、過去のライブラリーもDVDにしたい考えです。」

「九州支部について、ぜひ開設したい、という会員がいるが、本部でどのような支援をすれば開設しやすいでしょうか、みなさんのご意見をお聞かせ下さい。」

大阪支部「上を気にすると下は動けない。やりたい人間を立てて本部で認定してあげればよいと思う。」

高知支部「九州圏人会のつながりでやってみようか。」

関東支部「東海道支部が広すぎて、各県で集まってしまう、支部としての活動ができなくなっている。九州も当事者で決めてもらうしかないのではないか。」

#### 4. 協力型研修施設への参加についての説明

河野：「徳島大学では平成18年度からの歯科医師臨床研修制度の必修化をひかえておりますが、65名の研修医を予定した場合、徳島大学だけではキャパシティに限りがあります。そこで、各支部長を通じ、同窓会員の施設に協力型研修施設として臨床研修にご協力をお願いしたい。徳大だけで研修を行う場合を単独型、徳大と外の研修施設を廻るものを複合型と称していますが、この複合型の場合に受け入れてくださるところを探しています。尚、平成17年8月までに厚生労働省に申請する必要があるので、かなり急ぎの話になります。」

「具体的には受け入れ期間が年間3〜4ヶ月の短期コースと、6〜8ヶ月の長期コースがあり、相談による選択制です。条件は常勤2名以上、指導医（指導医講習会を受けた7年以上の臨床経験を有する者）は常勤であること、開設歴は3年以上、研修医は指導医の2倍以下にする、等です。」

「給与は手取り18万を目安にして頂きたい。岡山大は18,5万で統一したが、地域差等もあるので徳大では無理でしょう。病院側としては24,5万ぐらい支払うことになります。尚、受け入れる際に、補助金が支払われます。昨年度実績では一人上限11,5万円/月です。なので

実質は13万程度の支出になるかと思います。かなり面倒だとは思いますが、社会保険は各施設でお願いしたい。」

「このような協力施設を20施設以上募集しています。割り当てる研修医は総計20～30人を考えています。締め切りは一応5月末、徳大の学務に連絡して頂ければ結構です。ただし、正式な申し込み文書はまだできていません。」

「徳大では岡山大学、広島大学と共催で7，9月に指導医講習会を開催する予定です。」